



第8号

発行 平成17年10月15日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 黒沢 英宣

かがやき

目次

「ボランティア活動の現状について」

茨城県立図書館 副館長 皆川道典

各ボランティア分野の活動状況と今後の計画について

新しい仲間の声

～ 今年度から参加されたボランティアの声 ～

ボランティア協議会議事録から

水戸西ロータリークラブからの活動資金の援助について

ボランティア交流見学会の計画について

全国図書館大会の開催について

「ボランティアの声」

編集後記



ボランティア活動の現状について



茨城県立図書館 副館長 皆川 道典

ボランティアの皆様には、それぞれの分野で活動いただきまして有り難うございます。日頃大変お世話様になっておりますことをこの紙面をお借りしまして御礼を申し上げます。

県立図書館では、現在地に移転するにあたり、生涯学習の一環として県民の皆様

広く社会活動の出来る機会の提供と新館における図書館サービス機能の拡充を図るために、ボランティアの導入を考えました。最初は、読み聞かせ等の児童サービスと障害者サービス（対面朗読サービス）の2分野のみでしたが、開館し、1日平均 3,000人を超える利用者が来館し、多様なニーズ

に出来るべくサービス機能の拡充を図るために、更に翌年度「資料配架ボランティア」、「広報ボランティア」を初め8つの分野を増やしました。平成15年度には、更に「三の丸書庫ボランティア」、「図書修理ボランティア」の分野を増やし、現在は12分野で登録数約190名となっております。

しかし、「図書館職員との意思の疎通・交流が十分でないこと」や「活動実績のないボランティアへの対応」、「魅力がありやりがいのあるボランティア活動内容の検討」など課題・問題点も数多くあります。改善を図るべき方策を考えていきたいと思しますので、ご意見を頂戴頂ければ幸いです。

なお、今後必要とする分野として、「図書館案内ボランティア」、「情報サービスボランティア」など新たな活動分野も考えられますので、ボランティアの皆さんと協議の

場を設け活動分野と内容の見直しや充実策について検討して参りたいと考えております。よろしくお願いたします。

なお、今年度は、10月26日から28日の3日間「平成17年度第91回全国図書館大会茨城大会」が開催されます。是非、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

全国から水戸の地へ沢山の方がお見えになります。茨城は良い所だったという思いでお帰りいただけるよう、きめ細かなサービスを企画しているところであります。実行委員や運営委員の皆様同様、是非ご協力いただけますよう切にお願い申し上げます。

今後とも、ボランティアの皆様と県立図書館職員が一体となって、利用者サービスの拡充に努めて参りたいと考えております。よろしくお願いたします。



各ボランティア分野の 活動状況と今後の計画について



平成17年度上半期（H17年4月1日～9月30日）の活動経過と、下半期（H17年10月1日～H18年3月31日）の活動計画を、各分野ごとにお知らせします。

三の丸書庫

経過

- 一般図書の新規登録ラベルの保護シート貼付
- 一般図書の新規登録県立図書館蔵書ラベルの貼付
- 一般図書文学書の業者別、五十音別整理
- 一般図書文学書以外の図書分類別整理
- 児童書（絵本）の五十音別整理
- 児童書（その他）の五十音別整理



活動計画

- 一般図書、児童書の貸出、返戻図書の分類整理保管
- 一般図書、児童書の破損図書等の修理保存

特技を活かしたものの

経過

- 広報誌編集の支援
- ボランティアのパソコン研修指導（毎週木曜日）
- パソコンによるイベント・パネルの原版作成



活動計画

- 広報誌編集の支援
- ボランティアのパソコン研修指導（毎週木曜日）
- 図書館から依頼されるパソコンを活用した作業

代読サービス

経過

4/9(土)『三屋清左衛門残日録』の勉強。
「間をとる」「情景と場面の変化を考える」
出席者録音班7名。

「今年の目標、めいめいが一冊の本の録音
に取り組む。」

5/14(土)録音班及び全体会。新人2人の
紹介。出席者13名。

6/11(土)「目次、見出しの工夫」奥付、コ
ピーライトの読み方。言葉の最後をおさめ
る。出席者録音班9名。

7/9(土)「セリフと地」の読み方について。
出席者録音班8名。

9/2(金)NHK巡回講座。希望者6名参加。

9/10(土)「プロミネンス、奥付の読み方」
出席者録音班9名。

9/21(土)全体研修会。「視覚障害体験に
よる障害者への理解」講師 視覚障害者福祉
センター主事 古川智行氏 10:00～14:30。
出席者13名。

*代読は4月～9月まで 65件、
延べ121人が対応した。



活動計画

録音班は月1度勉強会

代読は広く呼びかけて活動を活性化させる。

児童サービス

経過

5/5(木)県立図書館「子ども読書フェ
スティバル」参加。2F視聴覚ホール
腹話術、絵本、朗読、紙芝居

1回目(11:30～12:30)

2回目(14:30～15:30)

8/21(日)14:00～16:30 3F会議室
児童サービスボランティア研修会(第
1回)参加人数31名。茨城女子短大か
ら講師2名(海野富江氏、加藤智子氏)
毎月、曜日ごとに読み聞かせをしてい
ます。

火曜班(第1,3) 13:30～15:00

水曜班(第2,4) 14:00～15:30

金曜班(第2,4) 13:30～14:30

土曜班(第1,3) 11:00～14:30

土曜班(第2,4) 11:00～14:00

日曜班(第1,2,3,4) 11:00～14:00

活動計画

10/26(水)～28(金)全国図書館大会参加
27(木)9:30～16:30 ボランティアの
集い。県総合福祉会館(受付、ランチ
ミーティング)参加

毎月、曜日ごとに読み聞
かせ活動は前述と同じです。



広報

経過

4月1日号編集会議

(2/19(土)、3/19(土)、4/8(金))

4/8(金)4月1日号が完成、印刷、全ボランティアに発送

7月1日号編集会議

(4/26(火)、5/29(日)、6/19(日)、7/2(土))

7/2(土)7月1日号が完成、印刷、全ボランティアに発送

10月15日号編集会議(9/4(日))



活動計画

10月15日号編集会議

(10/10(祝日)、10/15(土))

10/15(土)10月15日号完成、印
刷、全ボランティアに発送

10/26～28 開催される全国図書
館大会の模様と、11/26～27に開
催される図書館フェスティバル
等について、H18年1月15日号
で詳報する。

*より多くの対面取材機会を
増やし、ボランティアの生の
声取材する。

*意見、希望、提案をより多く
掲載するとともに、広報ボラン
ティア希望者を募集する。

*広報ボランティアとして、現
状の活動以外に新たな活動分
野を開拓する。

環境美化

経過

館内のパンフレットの整理

屋外のゴミ拾い

活動計画

館内のパンフレットの整理

屋外のゴミ拾い



新しい仲間の声

～ 今年度から参加されたボランティアの声 ～

代読サービス

近藤 淑子

代読サービスボランティアを始めて6ヶ月、10回程のボランティア活動を経験。東北生まれでアクセントに不安を抱えながら、初見での音読も諸先輩に助けていただき、ようやく慣れて参りました。

これからは各々の利用者に合わせて、読み方やスピードを変えたりする事を身につけて行くべきかと思っています。

月1回の録音図書製作の研修会や、9月に開かれた視覚障害者についての知識と介助の実技練習は、とても有意義で勉強になることばかり。

新しい事を学ぶ楽しさを難しさとともに感じながら、ゆっくりボランティア活動を続けて行こうと思っています。

児童サービス

加藤 忠司

今年の2月「加藤さん、県立図書館の児童サービスボランティアに参加してみない」と、ある講座で一緒にいる友達から声をかけられ、おそるおそる図書館に申し込んだところ、4月になって面接と経歴の調査などがあり、ボランティアの一員として認められ、5月から月2回(第2・第4日曜日)担当の班に入れていただいて、活動に入りました。

私は、自分も子も孫もお世話になった地元の浜田小学校で、若いママさん達を中心とした25人ほどのグループで、かれこれ5年ほど、毎週木曜日の授業開始前の15分間、子ども達に読み聞かせボランティアを行っておりますが、図書館の児童サービスボランティアは、小学校の読み聞かせボランティアとは違って、ほとんどの対象が、お父さん、お母さんに連れられてくる就学前の子どもさんで、最初はとまどいでしたが1～2回見学させていただいて、班長の上條さんの親切なご指導や、先輩の方達の子ど

も達をひきつけ飽きさせない読み聞かせ、また、合間に入れる童謡、唱歌、手遊び、指遊びなど、おはなしじつじつの明るい雰囲気きんぎに引き込まれ、どうやら皆さんについてまいりました。

私も、図書館のおはなしじつじつで、お父さんや、お母さんの膝のあいだにすっぽりと抱かれて、読み聞かせや紙芝居に目をかがやかせている子ども達を見ていると、私自身幼いころに、父のあぐらの中に抱かれて、読んでもらった時の父の声音や、膝のぬくもりを思い出し、また、自分の子や孫にせがまれて読み聞かせをし、とくに、息子が気に入りで繰り返し読まれた、浜田広介の「りゅうのめのなみだ」や、孫娘お気に入りの「ムーミン一家」を読んだ時代を思い出し、読書好きの習慣は、この小さい頃の読み聞かせに芽があるのではないかと、思うことしきりです。

私は、前記のとおり、児童サービスボランティアを始めたばかりですが、おはなしじつじつをおとずれる子ども達が、将来、読書好きになるそのお手伝いになれば、そして、その読書好きの輪がいつそう広がることを夢見願っております。

資料配架

大須賀 勝義

配架ボランティアを始めて3ヶ月、やっと作業にも慣れてきました。返却された本を早く、分類に従って元の場所に戻す作業は単純で孤独なものではありますが、頭も使い、身体も動かすので、私のような高齢者には知的運動となって老化防止にもなるのではと喜んでおります。

何よりも熱心に読書や勉強に勤しむ方々の姿に刺激を受けて私もがんばろうと思ひ、只今「辻邦生全集」(全20巻)を読み続けています。

ありがたいことだと存じております。

児童サービス

佐藤 純子

5月に行われた児童サービスボランティアの面接から4ヶ月が過ぎました。遠隔地に住んでいることもあって、月1回程度しか参加できないのが残念です。とにかく本を読む楽しさを伝えたくて、朗読をきちんと勉強していないにもかかわらず、ボランティアに名乗りを上げてしまいました。

数日前から本を探し、なるべく練習をし

たから臨むことにしています。本番の朗読の時間が終わるとどっと疲れている自分があります。そして、子どもたちは楽しんでくれたらどうか、家へ帰ってから「次は何を読もうかな」とエネルギーが回復するのは、子どもたちのきれいな眼差しに支えられているからです。

これからも、ゆっくりと一歩ずつ頑張っていきたいです。

ボランティア協議会議事録から

～ 平成 17・8・21 開催 ～

水戸西ロータリークラブからの活動資金の援助について

- (1) 8月3日 小松崎会長がクラブ席上、ボランティア活動の現況を説明。その後、会員の賛同を得て50,000円の資金援助が決定された。
- (2) 50,000円の使途について
 - ・協議会で話し合いの上、児童サービスボランティア研修会(8月21日開催)の講師謝金の10,000円を支出することに決定。
 - ・今後は、研修会などの経費の一部を援助することに使う。
 - ・各ボランティア分野から要望があればその都度協議会で検討する。

ボランティア交流見学会の計画について

下記の施設が候補地としてあがっております。

- ・千葉県佐倉市「国立歴史民族博物館」
- ・東京上野国際子ども図書館見学
- ・下妻市立図書館ボランティアとの交流会
- ・岩井市自然博物館見学とボランティア交流
- ・水戸生涯学習センターボランティアとの交流

見学会は12月頃実施を予定しております。ぜひご参加ください。

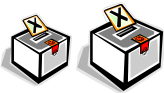
「ボランティアの集い」～ 全国図書館大会 ～

いよいよ近くなりました

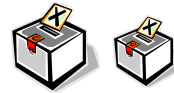
「障害者サービスボランティア」の部で、丹 協子さん、立川みつよさん(代読サービス)が事例報告をします。(10月27日 13:10~13:30)



又、当日、受付など各分野での協力を申し出ているボランティアの皆さん、宜しくお願いします。



ボランティアの声



ボランティア室に設置した投稿箱に寄せられた皆様の声と図書館の回答です。

エレベータの中で一人の方が、後から乗るために◀▶マークを押すところ、あわてて▶◀マークを押してしまい、ちょっと危ないと思いました。高齢者ほどエレベータを利用すると思うので、マークの下にひらく（又はあける）しめる（とじる）と書いたらどうでしょうか
（木村 澄子）

ご意見ありがとうございました。早速、ボタンの下に「あける」「しめる」のシールを貼りました。職員でも気付かないことがあります。今後とも、こういったご意見をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

ボランティア室のゴミ箱が汚れているので、レジパック等を利用したら・・・

ゴミ袋をボランティア室に常備しましたので、ご利用下さい。

編集後記

深まりゆく秋、「輝」8号発行となりました。

皆様にどのように読まれているのか、確たる手応えのない中で発行を重ねてきました。

ボランティア活動は、新年度スタートした頃から比べると、参加人数も減少し、活動に支障が生ずる委員会もあります。

自戒をこめて・・・・・・・・

初心消えかかるのを

暮しのせいにはするな

そもそもが ひよわな志にすぎなかった

（茨木のり子 ～ 自分の感性くらい～）より



〔金澤 鈴枝〕